



年 組 名前

道新でワークシート

除雪車自動運転 稚内空港で実験

HAPなど6社

【稚内】北海道エアポート（HAP、千歳）とNTTドコモビジネス（東京）など6社は5日、除雪車を自動走行させる実証実験をHAPが運営する稚内空港で行った。滑走路では国内初。北海道内は運転するオペレー



稚内空港の滑走路を自動運転する除雪車。オペレーターはハンドルから手を離している

ターの高齢化が進んでおり、将来的に除雪作業の無人化を目指す。

実験は空港専用の除雪車にハンドルやアクセルを自動制御する装置を取り付けて行われた。

非常時に備えて乗車したオペレーターがハンドルから手を離れた状態でも、除雪車は全球測位衛星システム（GNSS）で自らの位置を確認しながら指定コースを走った。

HAPは今冬から積雪した稚内空港で実証実験を行い、運営する道内7空港の除雪を2030年から順次、自動化する考え。

実験に立ち会ったHAPの友定聖二常務取締役は「（人手不足のなかでも）自動化による除雪の効率化で空港機能を維持できれば、空港や、空港がある地域の活性化に貢献できる」と話した。

（梶蓮太郎）

2025年11月6日（木） 朝刊 全道版 25ページ

- （1） 飛行場（ひこうじょう）の滑走路（かつそうろ）を自動運転の除雪車（じょせつしゃ）で除雪しようとしているのは、どこの空港でしょう。また、その空港の位地（いち）を地図帳で調べましょう。
- （2） 除雪車の運転を無人（むじん）で行おうとしているのは、どのような理由からですか。
- （3） 飛行機が大雪によって飛（と）べないとどんな困（こま）ることがあるのか、考えましょう。